

1.3.1.1-08

「帰る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「帰る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「帰る」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「帰る」の謙讓語表現 (P4)

<4> 「帰る」の丁寧語表現 (P6)

<5> 参考出典情報 (P6)

1.3.1.1_08「帰る」尊敬語・謙讓語・丁寧語の違い

「帰る」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

基本形

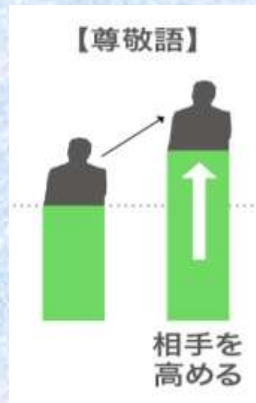
帰る

敬意を表す
方向

使用方法

尊敬語

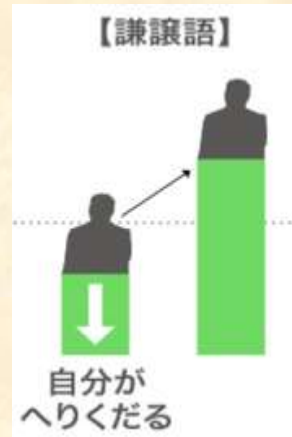
お帰いになる
帰られる



相手の動作や状態に使う。
相手や相手の動作、状態などを直接的に高める。

謙讓語

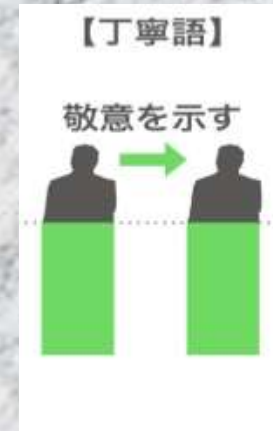
おいとまする
失礼する(類語)



自分の動作・状態に使うもの。
自分がへりくだり、それにより間接的に相手を高める言い方です。

丁寧語

帰います



聞き手に対して丁寧に述べる言葉。
「です」「ます」をつけて使う。
相手・内容を問わない。



1.3.1.1_08「帰る」尊敬語・謙讓語・丁寧語の違い

「帰る」尊敬語表現：「お帰りになる」「帰られる」

◇「帰る」の尊敬語には「お帰りになる」、「帰られる」があります。

- ・「お帰りになる」「帰られる」は自宅や会社などに訪れた客人が、帰宅するときに使用する敬語で、目上の人、または目上の人への行動に対して使用されます。
- ・日常生活では「お帰りになる」という言葉を使うことよりも「帰ります」と言う機会の方が多いため、「帰る」の尊敬語が「帰ります」や「帰りました」と勘違いしてしまいがちです。

◇「帰る」の尊敬語を敬意の高い順番に並べると、以下のようになります。

※高:①「お帰りになる」>中:②「帰られる」

◇「お帰りになられますか？」は二重敬語でNG？

- ・目上の人に対して帰るのかを質問する時に、よくありがちな「お帰りになられますか？」という言葉ですが、「お帰りになられますか？」は間違っています。「お帰りになられる」は先頭に「お」が付いているので敬意を表す言葉ですが、語尾の「られる」も敬意を表す言葉なので、「お」も「られる」も同時に使っている「お帰りになられる」は二重敬語であり、使い方としては正しくありません。
- ・正しく使いたいのであれば、先頭に「お」だけを付ける「お帰りになりますか？」か、語尾に「られる」だけを付ける「帰られますか？」が正しいです。

—「TAP BIZ」から引用

<https://tap-biz.jp/business/honorific/1039278>

「帰る」の尊敬語の使用例

※出張で「帰る」を敬語表現するのは、出張が終わるときです。

- ・「〇〇部長が明日出張を終えてお帰りになります。」

※「気をつけて」は、「注意・用心する」という意味で「帰る」や「帰る」の敬語表現と一緒によく使用されます。

- ・「ご来場の皆様、このような悪天候ですので気をつけて帰られて下さい。」

※お客様へ

- ・「本日は、お買い上げまことにありがとうございました。
お帰りになる際は、こちらの出口からお願いします。」



1.3.1.1_08「帰る」尊敬語・謙讓語・丁寧語の違い

「帰る」の謙讓語：「おいとまする」

◇「帰る」の謙讓語には「**おいとまする**」があります。

- ・「おいとまする(お暇する)」は「帰る」の謙讓語で、自分の行為に対して使うことは基本となるものです。
- ・「お暇する」の頭に「お」がついていることから、尊敬語と勘違いし、「課長がお暇します」と使用している人がいますが、これは間違いですので気をつけてください。

◇「おいとまする」応用上の**注意点**

- ・「帰る」という意味の「おいとまする」という言葉はメールでは一般に使われません。対面してまさに帰る時に使う言葉です。メールで「おいとまする」という言葉を使う時は、「やめさせていただく」「お別れを申し上げる」といった意味で使われます。お世話になった人に対して会いに行けない人に向けたメールで使われることが多いです。

◇「**帰らせる**」という言葉はありません。

- ・「帰らせて」ではなく、「帰らせて」が正しいです。これは、敬語の使い方を間違えているということ以前に、日本語が間違っています。「帰る」という言葉には、「帰す」や「帰らせる」という相手に対しての敬語ではない言い方はありますが、「帰らせる」という言葉はありません。
- ・「帰らせてもらう」という表現は、相手の同意のもとにやらせてもらうという意味があるので、「帰る」と「やらせてもらう」が組み合わせたり「帰らせてもらう」になります。「いただく」は「もらう」の謙讓語であり敬語の一つなので、「**帰らせていただく**」は**正しい**表現です。

◇類語：「**失礼する**」

在职场上上下班的时候经常会说「お先に帰ります」、「お先に失礼します」，也都是表达了「帰る」的意思。

※「**失礼させていただく**」、「**お暇させていただく**」は**二重敬語**となり、本来は間違っているので注意が必要です。

→「TAP BIZ」から引用

<https://tap-biz.jp/business/honorific/1039278>

「帰る」の謙讓語の使用例

- ・訪問先での打ち合わせが終わり、帰り支度をするきっかけとして「**そろそろおいとま致します**」と告げます。
- ・懇親会や打ち合わせで、目上の相手より先に帰らせてもらうときに「**おいとましてよろしいでしょうか**」と許可を得ます。

【「**おいとまする**」のNG使用例】

×私は本日16時に弊社をおいとまする予定です。

→この場合、自分の会社に敬意を表しているので間違いです。正しくは、「本日16時に退勤の予定です」など。



1.3.1.1_08「帰る」尊敬語・謙譲語・丁寧語の違い

「帰る」尊敬語と謙譲語：ビジネスシーンで応用上の注意事項

※社外のひとに社内のひとのことを話すときには尊敬語ではなく、謙譲語を使います。

社外の人の中で社内の人に対して尊敬語を使うのがおかしく、謙譲語を使うのは適切です。

※高めるべき順番は「社外 > 社内」である図式を守って使ってください。

ウチ・ソトが逆転している敬語は不可で、社内のひとのことを社外に伝えるときには、たとえ上司であっても高めてはいけません。ウチを低める謙譲語を使います。

お客様からの電話に「〇〇はお帰りになりました」はNG？

- ・お客様との電話でのやり取りを行う際に、敬語の使い方で間違えてしまいやすいです。
- ・よく電話で「A部長はいらっしゃいますか？」と質問された人が、「Aはお帰りになりました」と言ってしまうことがあります。これは間違いです。
- ・電話を出た人にとってA部長が目上の人間であっても、電話をかけてきた相手がお客様の場合には「**Aは帰らせていただきました**」や「**Aは失礼させていただきました**」と表現するのが**一般的**です。

客先から帰る時に「そろそろお帰りになりますか？」はNG？

- ・上司と一緒に客先に行き、そろそろ帰りましょうかと上司をうながす時に「そろそろお帰りになりますか？」と言ってしまうがちですが、これも正しい表現ではありません。目の前にお客様がいるのであれば、「**そろそろお暇しましょうか**」とうながすのが**正しい言葉**の使い方です。
- ・会社の人間として上司と一緒に客先を訪問しているのであれば、お客様から見れば上司も部下も一つの会社の人なので、訪問している自分達に対して謙譲語である「お暇する」を使うことはおかしいことはありません。

1.3.1.1_08「帰る」尊敬語・謙讓語・丁寧語の違い

「帰る」の丁寧語：「帰ります」

◇「帰る」の丁寧語は「帰ります」です。

「～ます」を始めとする丁寧語は、そのままの言葉よりもその言葉を美しくすることを目的とし、相手に与える印象をより丁寧なものにするために用いられる表現です。尊敬語や謙讓語に比べれば、比較的身分について考える必要はないです。

例えば、自分に対して謙讓語を使うことはあっても尊敬語を使うことは無いため、自分が帰ったことを伝える場合に「お帰りになりました」はおかしいです。自分が帰ったのであれば、丁寧語である「帰りました」か、謙讓語である

「お暇しました」が正しいです。

それとは反対に、目上の人が帰ったことを社内の人に伝える場合に「お暇しました」はおかしいです。

「お暇する」は「帰る」の謙讓語であり、自分がへりくだる時に使う言葉ですので、目上の人に対して使うのは失礼です。

目上の人が帰ったのであれば丁寧語である「帰りました」か、尊敬語である「お帰りになりました」が正しいです。

「帰る」の敬語・マナーから引用

<https://belcy.jp/39694>

「帰る」の丁寧語の使用例

・今会議が終わりましたので帰ります。

参考出典情報

<1>「帰る」の敬語表現・帰るの使い方と例文・別の敬語表現例

<https://tap-biz.jp/business/honorific/1039278>

<2>「帰る」の尊敬語・謙讓語・丁寧語は？敬語の使い方と用例を徹底解説！

<https://belcy.jp/39694>